

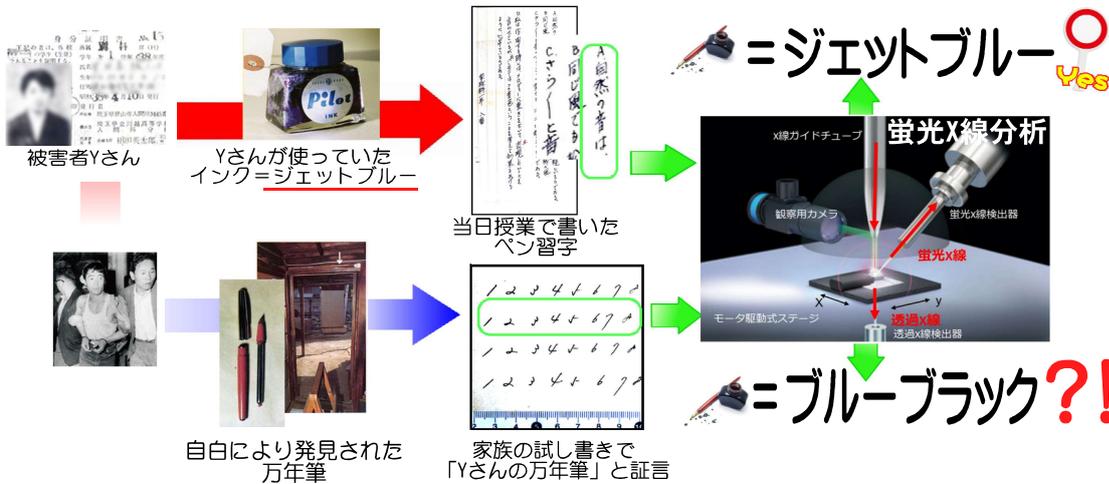
狭山事件とは

1963年5月1日、埼玉県狭山市で女子高校生が行方不明になり、脅迫状がとどけられるという事件がおきました。警察は40人もの警官を張り込ませながら身代金を取りにあらわれた犯人を取り逃がし女子高校生は遺体となって発見され、警察に世論の非難が集中しました。

捜査にいきづまった警察は、付近の被差別部落に見込み捜査を集中し、石川一雄さん（当時24歳）を別件逮捕し、1カ月にわたり警察の留置場で取り調べ、ウソの自白をさせて、犯人にでっちあげました。一審は死刑判決、二審では無期懲役が確定しました。

石川さんは再審請求を申し立てましたが第1次再審、第2次再審は一度の事実調べもなく棄却。1994年12月石川さんは仮出獄し、2006年5月に第3次再審を請求。2009年9月から裁判所、検察、弁護団による三者協議が開かれ、裁判所は検察に証拠開示を勧告しました。開示された証拠に基づき弁護団によって次々と事件の新証拠が明らかにされています。

自白による「秘密の暴露」とされた万年筆はニセ物だ！



「物的証拠」の脅迫状は非識字者である石川さんには書けない！筆跡は99.9%石川さんのものではない！

上申書 狭山市入間川二丁目
 土居 石川一夫 24才
 石川一夫は、先月1日の早朝、
 ぼろぼろの雨かきだいたくさん、
 まがいて、
 20日午後11時、
 5月12日、
 石川一夫

石川さんが逮捕当日に書いた上申書

晴
 毛
 し
 ち

石川さんの字は筆圧が強いカナクギ文字。脅迫状は筆勢がある。

脅迫状の筆跡は、
 金一、
 脅迫状は、
 子供、
 死出、

犯人が書いた脅迫状

神田香織 埼玉公演
 講談「石川一雄 撮の中の学び」

彩の国さいたま芸術劇場
 1F 映像ホール

〒338-8506
 さいたま市中央区上峰3-15-1
 Tel 048(858)5500

